

11月30日(月)

神の御名を呼ぶ

聖書朗読 創世記 12:1～8

地上のすべての民族は、あなたによって祝福される。

創世記 12:3

2年に1度ぐらいの頻度で携帯電話の買い替え時が来ているような気がします。携帯電話に不具合が起きるのではなく、たいていの場合、次々に新しく出る機能に携帯電話が対応できなくなってくるため、新しい機種に買い換えることになってしまうのです。

新しい携帯電話を手に入れるたび、私はその携帯電話と格闘します。今持っている携帯電話では、画面ロックをしないと勝手にどこかに電話がかかってしまうことがあります。電話をかけるつもりがないのに、勝手に誰かを呼び出してしまうのです。

私たちが神の御名を呼ぶときは、間違っではありません。神が必要なときです。そのときは、私たちは神とつながることができます。アブラハムと同じく、信仰によって神を求める人は皆救われます（ローマ 10:13）。神を信じたアブラハムの信仰は、今もなお全ての民族を祝福する遺産となって受け継がれています。私たちの信仰もまた、私たちの子孫を祝福することができるのです。

讃美歌 270

祈り 親愛なる主。忠実な者の求めに答えてくださり感謝いたします。あなた様の御名を呼ぶとき、どうか忠実なアブラハムにあなた様がしたように私も祝福してください。

イエス様の御名によって。アーメン。

ロバート・P・ミューレン

テキサス州 リッチランドヒルズ

今日の力

2015年 11月30日～12月6日

翻訳 阿部やよい

編集 岩田欣三

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

12月1日(火)

モリヤへの暗い旅

聖書朗読 創世記 22:1～8

私たちの兄弟たち。さまざまな試練に会うときは、それをこの上もない喜びと思いなさい。
ヤコブ 1:2

神への生贄として、とまどうことなく一人息子を捧げようとしたアブラハムの話は、たとえその結末が分かっていたとしても、ひどく心の痛む話です。今日の聖書箇所では、山への旅についてだけが語られていますが、私たちはそこに、神に従うことに対するアブラハムの深い献身を見ることができます。この話は、神とアブラハムの間で起きた7番目の、そして最後の出来事でした。全ての出来事は、より深い信仰を得るための召命でした。アブラハムは7度躓いてしまいましたが、アブラハムはこの躓きを通して、神の揺ぎ無い愛を知りました。そして今、アブラハムの信仰は完全なものとなりました。ヘブル人への手紙の著者は手紙の中で、アブラハムはたとえ死人の復活が信じがたいこととしても、神は神の約束に忠実な方であると確信したと書いています。

それでも、モリヤへの旅は暗く、そして非常に辛いものでした。あなたはこのような状況を経験したことがありますか？ もしくは、今そのような状況ですか？ 大切な友人を失い悲しみにくれていますか？ 誰もが恐れる病気で闘病中ではありませんか？ 生きることによって疲れてはいませんか？ 今あなたは神を感じていますか？ 聖書の中では、御子が十字架上で死んだときと同じように、私たちが苦しみの中にいるとき、神はいつもその苦しみを共にされていると繰り返し記されています。神は苦難を通してお働きになられ、私たちを形作ります。苦難の中、私たちはより深い信仰得るチャンスを与えられるのです。私たちが心から信じるために、神はあらゆる方法で私たちにチャンスを与えてくださいます。

讃美歌 191

祈り 親愛なる神。あなた様をもっともっと信じることができますように。とくに苦しみにあっているとき、そしてなぜ私がこのような苦しみに？ 思っているとき、あなた様を信じることがができますように。暗闇の中、光と希望としてあなた様を捜し求めるよう私をお導ください。

イエス様の御名によって。アーメン。

アール・L・ラベンダー

テネシー州 ブレントウッド

12月2日(水)

レホボテに移る

聖書朗読 創世記 26:18～25

わたしがこれらのことをあなたがたに話したのは、あなたがたが、わたしにあつて平安を持つためです。あなたがたは、世にあつては患難があります。しかし、勇敢でありなさい。私はすでに世に勝ったのです。
ヨハネ 16:33

イサクは掘った井戸をめぐって羊飼いたちと争いになり、2度「場所を移動」しました。イサクはなぜ井戸を羊飼いたちに譲ったのでしょうか？ 3つ目の井戸を掘ったときは争いがなかったので、イサクは神に感謝し、その井戸に「広々とした所」という意味のレホボテという名をつけました。

何か争いが起こると、私たちはすぐに自分の権利を主張しませんか？ 争いをさけ、あきらめて先に進んだほうが良いときもあります（これはアメリカ的ではないかもしれませんがね）。私たちのお手本であるイエス様は、受肉の第一歩として究極の権利——神のあり方を手放されました（ピリピ 2:6）。

有名な「繁栄の福音」は、クリスチャンは、信仰さえ持てば神は苦しみのない人生、経済的安定、健康な体を与えられるといった印象を与えます。しかし、イエス様は『あなたがたは、世にあつて患難があります。』（ヨハネ 16:33）とおっしゃっています。忠実な信者であっても、たえず争い、苦難、問題に直面します。アブラハムやモーセ、ダビデ、イエス様を見てみてください。

おそらく、私たちもイサクのように「移る」時を見分けなければならないのだと思います。そして、神が平安の地を与えてくださるとき、それを当然の権利ではなく、神からの賜物と思わなければなりません。

讃美歌 295

祈り 親愛なる主。反対に遭ったとき、次に移るタイミングを見極める知恵を私たちにお与えください。困難の中、あなた様を信じ、そして、あなた様が平安の地を与えてくださったとき、感謝の気持ちを忘れませんように。

イエス様の御名によって。アーメン。

リサ・ランフォード

テキサス州 ラボック

12月3日(木)

はっきり見たのです

聖書朗読 創世記 26:26～33

異邦人の中であって、りっぱにふるまいなさい。そうすれば、彼らは、何かのことであなたがたを悪人呼ばわりしていても、あなたがたのそのりっぱな行いを見て、おとずれの日に神をほめたたえるようになります。 I ペテロ 2:12

誰もが心の中で本当に望んでいるものを、いと高き御方の子である私たちはすでに持っています。

ペリシテ人の王、アビメレクは誓いを立てるためにイサクのところに行きました。ペリシテ人は決して好意的な態度ではありませんでした。彼らは嫉妬から繰り返しイサクの僕が掘った井戸を埋めました。それなのに、今アビメレクは契約を結ぶことを望んでイサクの元にやってきたのです。信じられますか？

アビメレク王はイサクの「なぜ私のところに来たのか？」という問いに、正直に答えました。『私たちは、主があなたがたとともにおられることを、はっきり見たのです。・・・どうか、私たちとあなたとの間で誓いを立ててください。あなたと契約を結びたいのです。・・・あなたは今、主に祝福されています。』(創世記 26:28～29)。アビメレクはイサクが主から受けている祝福が欲しかったのです！

周りの人は、私たちの人生の中に他とは違うものが見えているのでしょうか？ 私たちが祝福を受けていると感じているのでしょうか？ パウロは記しています。『あなたがたが、真にすぐれたものを見分けることができるようになりますように。またあなたがたが、キリストの日には純真で非難されるところがなく、イエス・キリストによって与えられる義の実に満たされる者となり、神の御栄えと誉れがあらわされますように。』(ピリピ 1:10～11)。イエス様が上げられ、イエス様が私たちの中に留められたとき、周りの人はイエス様の元へ導かれます。私たちの中に神の霊的な祝福がはっきりと見えますように。

讃美歌 452

祈り 恵み深い神様。私たちを見ている人々が、私と同じものを求めたいと思うよう、救い主キリストの義の実で私を満たして下さい。

イエス様の御名によって。アーメン。

ダナ・ミアネス

テキサス州 ビクトリア

12月4日(金)

神の家族は良い人たちですか？

聖書朗読 創世記 37:12～24

なぜなら、わたしは人をその父に、娘をその母に、嫁をそのしゅうとめに逆らわせるために来たからです。さらに、家族の者がその人の敵となります。

マタイ 10:35～36

ヨセフの話を読むたびに私は、家族とは、それがたとえ神の民だとしても、上手くいくものではないと思います。ヨセフのこと以前にも、アダムとイブにはカインの問題がありましたし、ノアは息子を呪いました。アブラハムはサラとの間に夫婦間の問題を抱えていました。イサクはリベカとヤコブに騙され、ヤコブはエサウとの間に深刻な兄弟間の争いを抱えていました。そして、今度はダビデ王です！

ヨセフの話は、イエス様とイエス様の家族間で起こる問題を予示しています(マタイ 3:21)。イエス様は、イエス様に従うことで、家族と別れることになるかもしれないと警告しています(マタイ 10:35～36)。「預言者は自分の故郷では尊敬されないもの」というイエス様の言葉ほど家族を非難する言葉はありません。イエス様は、家族の絆が必ずしも良いものであるとは限らないと考えておられました。

イエス様が家族というものに対して否定的であるということではありません。ただ、家族は大切だけれど、ときに家族によって信仰に対する忠誠心が妨げられると考えておられました。実のところ、ユダヤ人の家族への忠誠心によってあおられた多くの人々がイエス様を攻撃しました。「家族主義」や「家族ぐるみ」といった言葉があちらこちらで飛び交う文化では、ヨセフが学んだことをあなたも忘れないようにしていなければなりません。家族が主よりも優先されたとき、悪いことが起きるときがあります。しかし霊によってバプテスマを受けた家族の愛は良いものと変わります。最後に、まずは神を愛しましょう。そうすれば、よりあなたは家族を愛することになります。

讃美歌 537

祈り 親愛なる主。あなた様からの一番尊い贈り物の一つである家族を私にお与えくださり感謝いたします。私はあなた様を賛美いたします。私は決して贈り物より贈り主を愛することはありません。

イエス様の御名によって。アーメン。

ディビット・ランフォード

テキサス州 ラボック

12月5日(土)

主 役 は 誰 ？

聖書朗読 ヨシュア記 6：12～21

私は、私を強くしてくださる方によって、どんなことでもできるのです。

ピリピ 4：13

「君たちは頭がおかしいよ。歩いていればいつかは壁を打ち破れると本気で思っているの?」。これは、ベジーテイルズ（アメリカの野菜が主人公の子供向けアニメ）の中で、砂漠の暑さの中、エリコの城壁の下をとぼとぼ歩いているヘブル人のピクルスや豆たちをからかいながら城壁の上にいるブドウの兵士達が歌った歌です。

ブドウの兵士たちがそう思うのは当然でしょう。でもそれは間違いだったのです。そうですね？ ヨシュアはヨシュアに率いられた人々が角笛を吹きながら歩いてもエリコの町に入れないことは知っていました。しかし、神は、「わたしはエリコをあなたの手に渡した」とおっしゃられ、そして続けて神は、神の舞台でこの人々に脇役としての仕事をお与えになりました。

神は、あなたを喜んで神の舞台へとあげてくださいますが、神はあなたが準備できる、その時まで待たれます。神は、ご自身が主役のとき、その舞台の出来を気かけられます。あらゆる方法で、神は不可能を可能になさいます。手に負えない出来事に直面したとき、神は、エリコの壁を打ち破ったように、私たちが予想もしない道を与えてくださるか、もしくは困難に屈せずにごんぱり続けられるようお助けくださいます。

あなたの前にはどんな城壁がそびえていますか？ 逃げ道のない状況に追い込まれていませんか？ 終わらせることのできない仕事に追われていませんか？

城壁の上にいる人々にはへんに見えることを神はあなたにさせるかもしれません。しかし安心してください。その結果は確かです！

讃美歌 448

祈 り 親愛なる主。あなた様は全能の御方です。今日、できないことにチャレンジする強さを私にお与えください。そしてその時、あなた様をほめたたえ、周りの人を祝福できますように。主に感謝いたします！

イエス様の御名によって。アーメン。

イアン・K・シェルバーン
テキサス州 アビリン

12月6日(日)

結 論 を 急 ぐ

聖書朗読 士師記 4：1～23

うわべによって人をさばかないで、正しいさばきをしなさい。

ヨハネ 7：24

バラクは間違っではありませんでした。バラクは男としてのプライドに囚われることはありませんでした。「もしあなたが私といっしょに行ってくださいなら、行きましょう」とバラクは一人の女士師にいいました。

デボラは「私は必ずあなたといっしょに行きます」と即答しました。そして「けれども、あなたが行こうとしている道では、あなたではなくひとりの女が栄光を得ることになります」とバラクに告げました。バラクはそれでよいと思っていました。それは、なにがあっても彼は死ぬことはないと思ったからです。

バラクはよく健闘しました。しかし、バラクはよくある間違いをおかしていました。バラクは「ひとりの女」が勝者として栄光を得るとデボラが言ったとき、その意味を理解しているつもりでした。もしデボラが栄光を得たとしたらどうなっていたでしょうか？ バラクは後に歌われる勝利の歌が、敵の将軍を見破った名も聞いたことのないケニ人のヤエルを賛美するものであったとは夢にも思わなかったでしょう。

私たちも同じような間違いを犯したことはありませんか？ あなたの夫や妻がイエスもしくはノーとあなたにいいます。相手の考えが自分のは天と地ほどかけ離れていた場合でも、私たちはなぜ違うのかをわかった気でいます。上司は会社の規則を変えます。実のところなぜそうしたのかさっぱり分からないときでも、分かったような気でいます。

『軽々しく、心あせてことばを出すな。・・・ことばを少なくせよ。』（伝道者の書 5：2）

讃美歌 第二編 80

祈 り 親愛なる主。私たちがしょっちゅう結論を急いだあまり失敗しているのをあなた様は知っておられます。軽々しく口を開いて自分の意見を言わず、真実のみを語れるよう、聖霊によって知恵を私にお与えください。

イエス様の御名によって。アーメン。

ジーン・シェルバーン
テキサス州 アマリロ